

3 ホームユースニーズに対応する花壇苗の探索

ねらいと成果

2005年3月に公表された花き産業振興方針には今後ホームユースニーズの拡大が見込まれており、特に鉢花・花壇苗等ではその土地の気候風土に適合し、花持ち性が優れ、育てやすい花きの開発が重要視されている。

本県の花壇苗生産は盛んであるが、近年、より一層の生産品目の多様化を求められている。そこで、園芸雑誌等で紹介事例の増えてきた新規・マイナー花壇苗を集め、栽培し、花壇への定植適応性の高い花壇苗を選定した。

内 容

供試した草種及び品種は表1の16種である。

ポット栽培では9 cm 又は10.5cm ポットを使用

表1 各花壇苗のポット段階での生育特性

草種名	品種名	播種日 (月日)	健全苗率 (%)	平均開花日 (月日)	草丈 (cm)	株幅 (cm)	ポット生産段階上の注意点
ジブソフィラ	ジブシーディーブローズ	3月11日	88.2	5月28日	12.5	22.4	株の刈り込みが必要
葡萄性アサガオ	サンスマイルミックス	4月13日	85.1	7月17日	17.5	18.4	発芽率が高いため直播が可能
ヘリオトロープ	ブルーワンダー	3月11日	74.8	6月5日	16.5	13.2	栽培は容易
一オサルスベリ	スーパーソニック	3月11日	77.2	7月10日	32.5	18.5	徒長しやすい。ピンチ等の工夫が必要
サルビア・ネモローサ	セレクトブルー	3月11日	72.8	7月20日	25.4	15.6	株ごとの個体差大きい
トレニア	スージーウォン	3月11日	68.6	8月20日	7.8	15.2	横方向に徒長しやすい
サンビタリア	スプライトイエロー	3月11日	92.5	6月5日	11.8	13.7	徒長しやすい
ポリゴナム	ビクトリーカーベット	3月11日	87.5	6月1日	5.8	17.2	栽培は容易
耐寒マツバギク	サイカ	7月21日	95.4	10月5日	7.8	12.4	株はコンパクトにまとまる
宿根マリーゴールド	レモニー	7月7日	-	10月3日	38.2	24.3	徒長しやすい。ピンチ等の工夫が必要
アマランサス	トリカラーパーフェクタ	7月12日	90.2	9月28日	25.4	17.5	播種時期が早いと草丈伸びやすい。
ビデンス・フェルリフォルア	ゴールドデンアイ	7月22日	62.3	10月15日	22.6	15.2	株の刈り込みが必要
ディアスシア	アスカピンク	7月12日	72.1	11月7日	28.2	14.8	株がでにくい。3.0号の鉢が向く
セロシ	アスパイキーピンク	8月24日	86.1	10月2日	13.7	15.5	株はコンパクトにまとまる
ブラキカム	ブラボーディーブルー	7月12日	96.5	9月25日	14.5	12.4	株の刈り込みが必要
ダイアンサス	ダイアナビューアローズ	7月12日	94.1	9月28日	15.5	12.5	暑い時期は徒長しやすい

宿根マリーゴールドは挿し芽で増殖した。

表2 花壇定植後の開花持続期間と花壇への適性

草種名	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		花壇の適性
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
ジブソフィラ															△
葡萄性アサガオ															○
ヘリオトロープ															○
一オサルスベリ															△
サルビア・ネモローサ															○
トレニア															○
サンビタリア															
ポリゴナム															△
耐寒マツバギク															△
宿根マリーゴールド															○
アマランサス															△
ビデンス・フェルリフォルア															△
ディアスシア															
セロシ															△
ブラキカム															△
ダイアンサス															○

表中の ○ は定植、 △ は開花を示す。 ○ は連続開花性に優れた強健。 ● は使用に耐える。 △ は定植時期、条件など検討を要する。

し、土壌には標準培養土を用いた。作型は、草種の開花期に応じて、3～4月播種、7～8月播種に分け、場内ガラス温室で栽培した。花壇への定植は、あわじ花さじき(淡路市)の花壇に2004年6月10日、10月7日に定植し、その後の連続開花性を調査した。

その中から、連続開花性に優れ、立ち枯れ等の少ない強健な草種として、サンビタリア、ディアスシアを選定した。

普及上の注意事項

花壇への適性で 評価のものは、プランターや寄せ植え用であれば評価の高いものもある。

石川 順也(農業技セ・園芸部)

(問い合わせ先 電話: 0790-47-2424)